

初期・中期の
食べさせ用スプーン

絶対に失敗しない！

離乳食スプーンの選び方

赤ちゃんの食べやすさ



【シリコン】やわらかく口当たりがいい。シリコン製の歯固めもよく売っているので、口に入れた経験のある素材の方が慣れやすい。ただし劣化早め

【プラスチック】軽くて丈夫。硬さが口の中で当たると嫌がる子も【金属】丈夫で劣化せず長持ちだが、初期に適したサイズの商品がない。硬さで口に当たると嫌がる子も。

【木製】口当たりがなめらか。劣化しやすい、食洗機や消毒不可も多い。初期に適したサイズの商品がない。

初期は「やわらかく慣れやすい素材(シリコン)」が鉄板！
素材は、歯固めなどで慣れたものの方が受け入れやすい。

私のおすすめは、シリコンの歯固めで、シリコンに慣れさせておいて、シリコンスプーンを買うべし！食べやすさをアップさせる出っ張りやストッパーつきのスプーンもおすすめです。



お口に合うサイズ感



初期のスプーンは素材よりもサイズ感を重視しましょう！

特に離乳食初期は、「とにかく赤ちゃんのお口に合うかどうか！」によって離乳食の受け入れ方がまるで違います。

初期は 浅く・小さめ・フラット がベスト
中期からは少しくぼみのあるタイプも食べれるようになる

ちなみに初期の赤ちゃんに100均の離乳食スプーンをつかったら、形が不向きで離乳食拒否し、全然すすみませんでした…。



親の食べさせやすさ



柄の長さ・太さ・くびれなどスプーンによって微妙に違ってきます。

まだ赤ちゃんは自分で食べられないので、
親の食べさせやすさ、持ちやすさもポイント。

Amazon上位だったリッチェルのスプーン、個人的にはカーブが逆に持ちにくかったです。



お皿で"すくいやすいか"



親の持ちやすさよりも重要なのが、お皿のすくいやすさ。

離乳食初期って離乳食イスに座れないので抱っこで食べさせることも多いので、片手でもすくいやすいと便利！

シリコンの方が皿のカーブにフィットして一番すくいやすい。
形は、先端が平たいほうが、皿の表面に沿ってすくいやすい。

「プラスチックで先端が平たいスプーン」は、すくいやすいと思いきや、意外とすくいきっかけたので、素材>形で選ぶ方が失敗しにくいです。



お手入れのしやすさ



離乳食がはじまる生後5～6か月ごろには、いろんなものを触ったり舐めるので、食器の消毒は必要ないと言われることが多いのですが、方法は豊富の方がいいですね。着色が目立ちにくい濃い派手色も多いですが、離乳食スプーンの理想は白です。

(赤ちゃんが食材の色や存在を見えやすいから)

ただ白は着色しやすいので、気になる方は濃い色のスプーンでもOK！

消毒は、煮沸・食洗機・電子レンジ・薬液OKか
着色は、スプーンの色や材質・ハイターOKか

正直、色の違いで赤ちゃんの食いつきの差は感じられませんが、
でしたけどね！(実体験)

